

大学名	北里大学		
University	Kitasato University		
学部/研究科	獣医学部		
Faculty/Department	School of Veterinary Medicine		
研究指導者	汾陽光盛	職名	教授
Research Advisor	Kawaminami Mitsumori	Position	professor
帰国留学生	ティタリー・ラオハラチャダタニン		
Former International Student	Titaree Laoharatchatathanin		
派遣期間	2015年11月6日 ~2015年11月15日 (8日間)		
Period of Stay	8 days November 6th - November 15th		

< 帰国留学生プロフィール/Profile >

国籍	マハナコン工科大学・タイ王国
Nationality	Mahanakorn University of Technology, Thailand
所属機関	マハナコン工科大学・講師
Affiliation	Mahanakorn University of Technology, lecturer
現在の職名	
Position	Lecturer
研究分野	獣医生理学
Major Field	Veterinary physiology



マハナコン工科大学獣医学部
Mahanakorn University of Technology

< 研究指導者からの報告/Research Advisor Report >

① 研究指導概要 / Outline of Research Guidance

帰国留学生の所属するマハナコン工科大学獣医学部を訪問した。消耗品費10万円などで購入した物品を確認し、現地でコンテナやヒーターなどの購入を行い、組織学実験を開始出来る環境を整えた。動物病院の臨床例から摘出腫瘍組織の切片を作ること、通常の組織染色を行えるところまでは出来るようにした。この後、免疫組織化学を行いたいのだが、試薬が買えずにしばらくは、通常染色標本の作製に止めざるを得ない。卒業生は獣医臨床をルーティンでやりつつ、博士課程での研究を進展させようとしている。そこで、その背景や位置づけ、意義などを含めてマハナコン工科大学、チュラロンコン大学、カセサート大学獣医学部でセミナーを行い共同研究者を募った。更にこの機会にこれら大学の動物病院を見学する機会を得、タイの獣医学教育のレベルを知ることが出来た。また申請者の研究に興味を示す教員もおり、今後共同研究の可能性を探ることとした。

② 研究指導の成果 / Results of Research Guidance

マハナコン工科大学の研究施設は、動物病院の臨床検査実施に重きを置いており、基礎・応用研究を進めるには不十分である。今回、非常に初歩的な段階であるが、大学院での研究を進展させるための基本準備を整えることが出来た。更に、卒業生の職場環境や所属大学の基本設備を知ることが出来た。卒業生に対しては、学位取得のフォローアップとして研究指導を続けていく予定なので、今回の訪問は大変参考になった。卒業生が責任者を務める付属動物病院の様子も知ることが出来、勤務獣医師にサンプル採取の意義を伝えることも出来た。タイの獣医学教育の中心となっているチュラロンコン大学とカセサート大学の関連教員、大学院生に対してセミナーを行うと共に、両大学の設備を視察することが出来た。卒業生を帯同してこれらの大学を訪問し、関連教員と共同研究の提案、及びサンプル採取への協力を依頼した。腫瘍科の教員と連携を期待している。

③ 訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.

マハナコン工科大学獣医学部では、学部学生と教員に「Physiology of reproduction in laboratory rats」という題目で60分の講義を行った。質疑応答を行い、その後教員と懇談した。懇談では教育交流について意見交換し、北里大学の学生を海外研修としてマハナコン工科大学に派遣する可能性について、既に実施しているマハナコン工科大学の学生を北里大学で受け入れる諸問題について意見交換した。マハナコン工科大学学生で次年度日本で研修を希望している7名と面談し、希望や質問を聞いた。

チュラロンコン工科大学では、臨床系教員と大学院生に対して「Annexin A5 (ANXA5) augmentation of Gonadotrophin releasing hormone (GnRH) stimulated LH release in the pituitary gonadotrophs」という演題で30分のセミナーを行った。チュラロンコン大学では、国際交流の希望が強いこと、学生受け入れ体制など学部長から説明を受けた。臨床系教員と昼食を共にしながら研究、教育、日本の事情、タイの事情について情報交換を行うと共に意見を交換した。

最後にカセサート大学を訪問した。やはり臨床系教員と大学院「Demonstration of Gonadotrophin releasing hormone (GnRH) action in peripheral tissues by means of annexin A5」という演題で60分の講演を行った。学部長も訪れ来学の意図を説明することが出来た。動物病院長から動物病院の説明を受け、カセサート大学の病院を見学した。カセサート大学も日本の大学と国際交流をしており、研修学生も受け入れているとのことで、将来的な相手校として可能性のある感触を得た。

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance

We confirmed that annexin A5 was shown to distribute to canine cutaneous mast cell tumors with differences among the three grades based on described histomorphologic features.

②今後の計画 / Further Research Plan

Canine cutaneous mast cell tumor was shown to contain annexin A5. To explore the difference among three grades of mast cell tumors, levels of annexin A5 will be examined by PCR and Western-blotting.

③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance

I am impressed with the Follow-up Research Guidance of JASSO. I can improve my knowledge and continue my research in my school.



マハナコン工科大学での講義の後で
After the lecture at Mahanakorn University



チュラロンコン大学でのセミナー
Seminar at Chulalongkorn University